スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【愛知県豊明市】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	愛知県豊明市
担当課名	学校教育課
電話番号	0562-92-8316

1．自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

人口	68,112人	部活動数	48部活
公立中学校数	3校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	1,689人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定しない

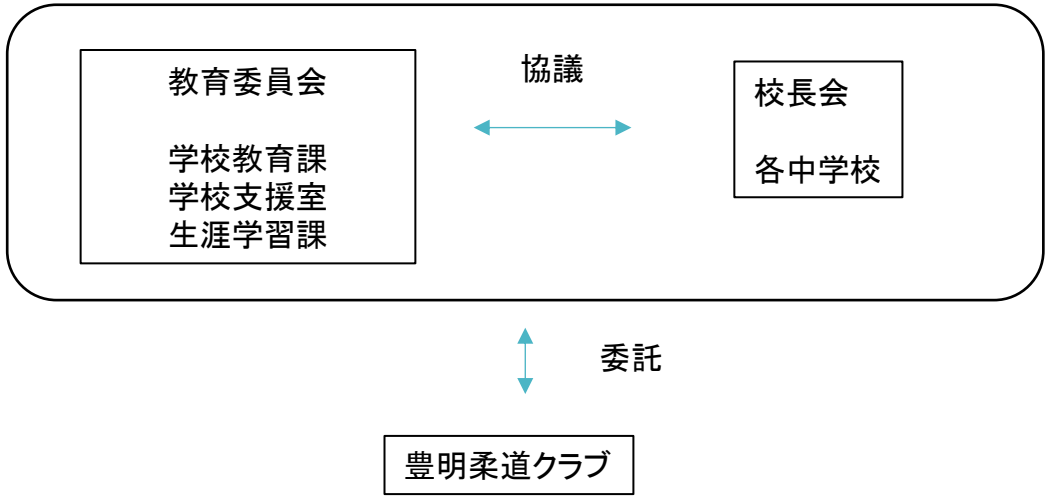
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

中学校の部活動の地域移行をする受け皿がないため、持続可能な部活動の運営体制の構築が課題である。

2．実証内容と成果

運営体制･役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（学校教育課）
- 持続可能な部活動の在り方について検討する

年間の事業スケジュール

令和５年１１月より柔道部の部活動を豊明柔道クラブにモデル事業として委託。

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

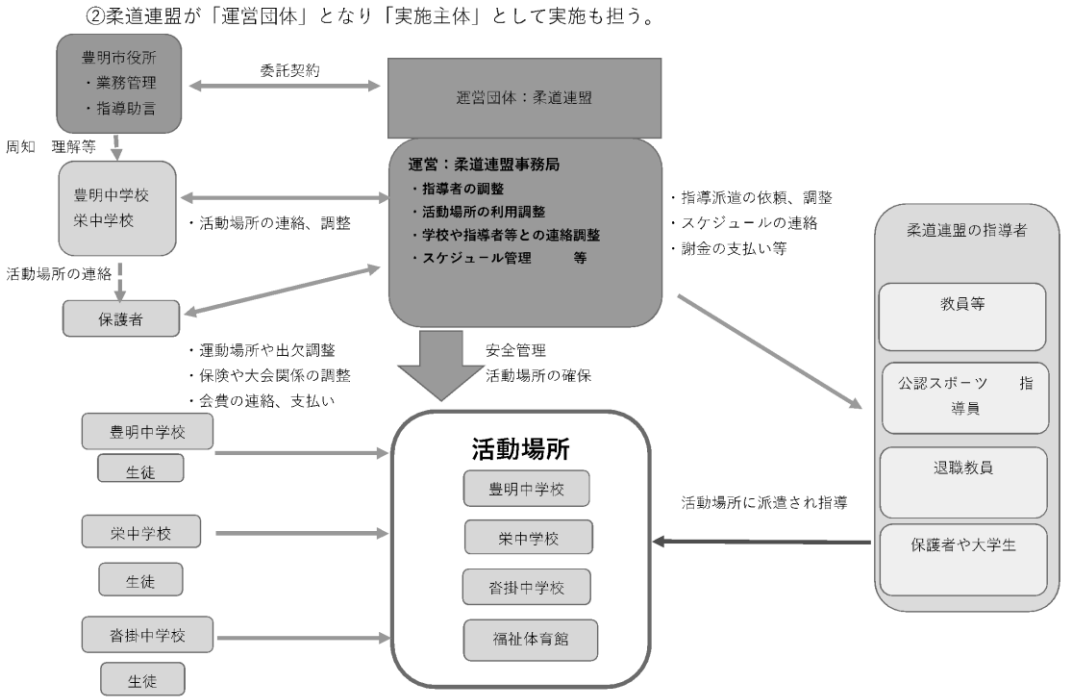
拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	柔道
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	1部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	豊明中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	1部活
地域クラブ活動で実施した種目	柔道
運営主体名	豊明柔道クラブ
運営類型	市区町村運営型（地域団体・人材活用型）
１か月あたりの平均的な活動回数	柔道：月1回程度
指導者の主な属性	日常的に生徒を指導
活動場所	豊明中学校
主な移動手段	徒歩等
１人あたりの参加会費等（年額）	0円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項	・ 部活動地域移行検討委員会を設置し、部活動の地域移行における実施主体の選定や体制整備など持続可能な運営体制の確立を図った。
取組の成果	・ 部活動地域移行検討委員会を設置し、部活動の地域移行における実施主体の選定について検討し、モデル事業の実施主体を選定した。
特に工夫した事項	・ 部活動地域移行検討委員会に学校関係者、ＰＴＡ代表、スポーツ協会関係者の参加していただき、休日の部活動の地域移行について、検討していただいた。
今後の課題と対応方針	・ 部活動地域移行検討委員会の委員の選任について、継続して検討していただける方の選出に課題がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項

・ 豊明柔道クラブへ委託し、指導者の確保を図った。

取組の成果

・ ４回の練習日について、平均6人の指導者を確保し、配置することができた。

特に工夫した事項

・ 日常的に指導に関わっており、子どもたちの様子をよく知る団体に委託した。
・ また、指導者への謝金の支払いについては、市で担うことにより、団体の負担軽減を図った。

今後の課題と対応方針

・ 大会等への引率や従来の部活動との方針の調整を図る必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項	・ 学校施設を利用して地域移行が実施できるように調整を行った。
取組の成果	・ 拠点校との事前調整を市教育委員会が行うことで、円滑に学校設備が利用できる状況を整えた。
特に工夫した事項	・拠点校との調整を市教育委員会が綿密に行うことを意識した。
今後の課題と対応方針	・ 学校施設の利用方法や鍵の管理などのルールの策定

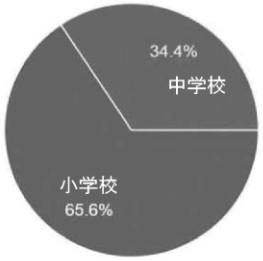
2．実証内容と成果

スポーツ庁

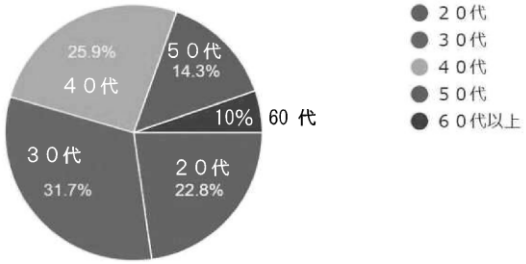
参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

地域スポーツクラブアンケート 結果（市内教員）

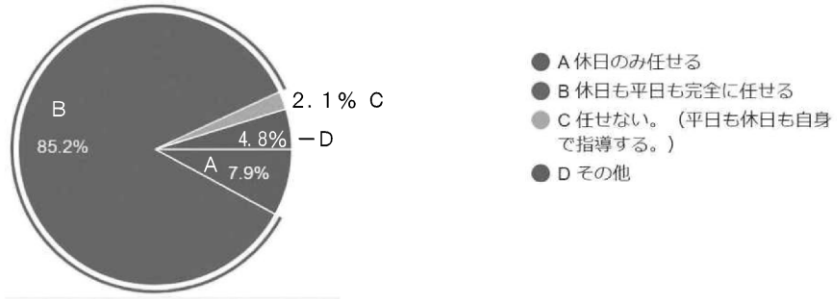
1 所属する学校種をお答えください。



2 年代をお答えください。



3 今後、部活動を地域指導者に任せることが可能になった場合、あなたは地域指導者に部活動をどのような形で任せますか？A～D から一つ選んでください。



【第２回地域移行検討委員会での資料】

現在の部活動と地域移行した場合の違い

	現在の部活動	地域移行した場合
位置づけ	学校教育の一環	生涯学習活動の一環（文化活動・スポーツ）
運営主体	各中学校	地域クラブ等の団体
活動種目	各学校で設置	教育委員会で用意
活動場所	各中学校	各中学校、その他の公共施設等
指導者	教員、部活動指導員	地域クラブ等の指導者
費用負担	無し（大会参加の場合等は別途）	原則として受益者負担あり

※　段階的に進めていくために、休日に実施する部活動を地域の指導者による運営に移行していく

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年		令和６年		令和７年	令和●年
部活動地域移行検討委員会にて協議	柔道にてモデル事業を実施	柔道とソフトテニスにてモデル事業を実施	課題の整理・改善	情報の追加・更新	休日の地域移行開始

豊明市教育委員会が部活動検討委員会にはかり、豊明柔道クラブに地域移行モデル事業として委託した。

3．今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

部活動地域移行のスケジュール（案）

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国		★休日部活動の段階的な地域移行の開始	＜改革推進期間＞		＜休日の地域移行開始＞
豊明市	中学校部活	・モデル事業の実施	課題の整理・改善		＜休日の地域移行開始＞
		・地域移行の運営団体の募集			
			・大会出場に向けて調整		
		・部活地域移行制度の周知	・随時情報の追加・更新		